



9月定例会

「信州ブランド戦略」の見直しと強化を

一般質問



健康長寿や海外訴求力などブランド価値を高める大切な産業である。今後、発酵食品の魅力発信とブランド向上を目的としたイベントを開催する。また、県外での更なる魅力発信に加え、産学官の連携、海外の展示会への出展支援など、県内食品産業の発展とNAGANOブランドの向上につなげる。



伝統的工芸品・地場産品のブランディングと開発支援

地域経済全体が縮小する中、長野県の稼ぐ力を向上させるためには、国内外での販路拡大を支援すると共に、県全体のブランド価値を高めることが重要と考え、「信州ブランド戦略」に関して質問しました。

「GI長野」指定で世界へ

【丸山】 ワインと日本酒の「GI長野」において、GI(地理的表示)指定によるメリットと今後の取組について伺う。

【田中産業労働部長】 GI長野のメリットは、産地名を独占的に名乗ることができ、他の酒類との差別化が図られる。また、不正使用の取締りにより、ブランド価値が守られる。今後、世界に向けた長野ブランドとして、海外に対しても積極的に発信していく。

「発酵バレーNAGANO」で魅力発信を

【丸山】 「発酵バレーNAGANO」の目的と内容、今後の展開について伺う。

【田中産業労働部長】 県内で加工されるワイン・日本酒、味

新たなブランド形成を目指していく。

「オール信州」による「ブランド発信」に向けた取組

【丸山】 各種県産品がブランド力を持つことが長野県全体のブランド価値向上、つまり「しあわせ信州」の実現に結びつくと考ええる。そのためにも、県が中心となってオール信州でのブランド発信がより重要になると考えるが、どのような姿勢や取組が必要と考えているのか知事のご所見を伺う。

【阿部知事】

一つ目は、信州の持つ独特の価値、強みをはっきり明確にしていくこと。二点目は、ブランドに対して期待を裏切らない価値を継続的に提供すること。三点目は、それぞれブランドが相乗効果を発揮できるようにすること。四点目は、県行政だけでなく、市町村、事業者、県民の皆様と一緒に取り組んでいくこと。更にメディア等で情報の露出を増やしていくこと。こうした考えのもと、信州ブランド戦略を再構築し、価値の磨き上げに努めていく。

【丸山】 工芸品や地場産品は、時代に即したブランディングも必要であり、新たな素材や技術を用いることで人気が集まるケースがある。「信州の伝統工芸品ブランディング調査」の結果と今後の取組はどうか。

【田中産業労働部長】 調査結果から、「木曾漆器」と「飯田水引」以外は、全国的な認知度が低いことが分かった。新製品づくりや新たなファンを獲得が必要であることを再認識した。10月から、製造業、サービス業、観光業などの他分野の産業と伝統的工芸品産地が連携し、工芸品の活用や新商品の開発を支援していく。今後とも時代に即した伝統的工芸品の



県民文化健康福祉常任委員会で質問しました



健康福祉部

（医師・看護人材確保対策課）

緩和ケア事業の充実と人材育成

【丸山】 がん看護に係る「多職種連携医療人材」養成事業の内容は何か。

【課長】 がん治療・療養の場面で患者に求められる様々な意思決定(延命治療など)の際、患者・家族・医療者の間で生じる課題に対し、調整しながら適切な対応ができる人材を養成するための研修事業である。看護師をはじめとする医療従事者が対象者となっている。

県民文化部 (次世代サポート課)

子どもを性被害から守るために大人ができること

【丸山】 性犯罪規定を大幅に見直す改正刑法が成立した。それに伴い、県の条例も改正されるが、その刑法の内容は何か。

【課長】 刑法に新設の第182条では、16歳未満の者に対する面会要求等の罪にあたる行為(性的グルーミング)による被害を「性被害」に加えるものである。また、条文においての改正は、176条他では強制わいせつが不同意わいせつと名称が変わり、罪に問われるケースが明確化された。

健康福祉部 (医療政策課)

人生の最終段階にACCP(人生会議)の活用を

【丸山】 治療・療養の現場において専門家の助言や調整は大変有難いが、あわせて日頃から患者等が自分の思いを確認し、家族が共有できることが望ましい。その助けとしてACCP(アドバンス・ケア・プランニング、通称・人生会議)があり、人生の終末期における医療やケアの内容について家族や医師など、信頼できる人と事前に話し合うことができる。講演会や講座が開かれているが、必要性や県内自治体の開催状況はどうか。

【課長】 人生の最終段階における医療・ケアの決定において、ACCPは大切であり、在宅医療や救急医療体制のワーキンググループの中でも必要性の議論をしている。現在、県全体の開催状況までは把握して

【要望】 全ての自治体にACCPの考えが届くように支援をお願いしたい。



信州黄金シャモ

扉を開けて

8月9日に征矢野建材(株)の民事再生手続き開始のニュース速報が飛び込み驚いた。綿半ホールディングス(株)が「征矢野建材へのスポンサー支援に関する契約締結のお知らせ」をホームページに掲載した。私は、6月定例会で、信州F・パワープロジェクトに関する質問をしたが、地元議員として問題にせずにはいられなかった。

長野県は、製材工場に約24億円の補助金、発電施設に約1億円の無利子融資を行っている。また、塩尻市としては、地元要望の道路整備に約7億円を投入している。それらを活かすためにも県は原木の安定供給と林業の人材確保に全力を尽くしてほしい。

信州ブランドについての質問で果樹、野菜の美味しさを主張するとともに、長野県畜産試験場で生まれた信州黄金シャモについても取り上げました。



【要望】 法律や条例の整備だけでは、性被害を抑制できないので、幼少期からの正しい性教育が必要である。また、大人向けの性教育も行ってほしい。



安曇野で県政対話集会を開催しました

対話集会で県民の声伺う
視察や調査活動も活発に

10月10日、我が会派として初めての県政対話集会を安曇野市の豊科ふれあいホールで開催しました。この対話集会は、県政の現状と課題を県民の皆さまにご報告すると共に、ご意見・ご要望を直接お受けし県政に反映させるため、前会派「改革・創造みらい」の時にも開催してきた取り組みです。コロナ禍により、控えざるを得ない時期もありましたが、新会派「改革信州」としても、出来

る限り県内各地を訪問し、県民の皆さまと直接対話する機会を設けるべく、広報広聴活動の一環として開催いたしました。当日は、県民の皆さまや、松本地域振興局長・安曇野建設事務所長・松本保健福祉事務所長など約60名の方にご参加いただき、県政を始めとする課題に対し、活発なご意見・ご要望・ご提案をいただきました。



特別校の設置やICTの活用等による多様な学びの保障についてご提言がありました。他にも、通学路の改修を始めとする子ども達の安全確保策、農業振興や地域活性化、人権問題や環境問題等、幅広いご意見をいただきました。

また、この対話集会に合わせ、10・11日の両日、現地調査・視察を行いました。①県立こども病院においては、こども病院の先進的取り組みと果たしている役割について説明を受け、設立後30年を迎えたことから今後の建て替えについて要望がありました。②電波発信機を利用した鳥獣害対策については、GPSを利用して正確な位置情報により効果的な対策を進めている取り組みの説明を受けました。③松本広域森林組合による県産材の動向については、主伐再造林の時期を迎えている中で森林組合の取り組みと課題について説明を受けました。④わさび農園の生産・加工・国内外への販売における取り組みと課題については、適地適産の優位性や規模

- ▽11月30日 開会
- ▽12月5日～8日 一般質問
- ▽12月11日～14日 委員会審議
- ▽15日 閉会

11月定例会日程(予定)

9月定例会は、9月21日から10月6日までの16日間の会期で開催され、災害復旧費用や、頻発・激甚化する災害に備えて防災・減災対策を推進するための予算を中心とする101億4376万9174万円余(債務負担行為10億9174万円余)の補正予算案、教育委員会委員の選任を始めとする人事案件等、知事提出の17議案を審議し、継続審査

の決算認定を除き、いずれも原案のとおり可決・同意しました。このほか、我が会派提出の「公立小・中学校の学校給食の無償化の実現を求める意見書案」を始めとする議員提出10議案を全会一致で可決しました。



9月定例会

101億4376万円余の
一般会計補正予算案などを可決

安全・安心な県土づくりの推進と災害復旧に

補正予算のポイント

- 【県民生活の安全・安心の確保】99億922万7千円
 - 大規模災害への対応(災害復旧、補助・県単独公共事業)
 - 被災した道路、河川、砂防施設、荒廃森林、農地等の迅速な応急対策・復旧工事等を実施
 - 安全・安心な県土づくりの推進(補助公共事業等)
 - 頻発・激甚化する災害に備え、緊急輸送道路や砂防施設等の防災・減災対策を推進
 - 流域治水の取組を推進するため、県有施設に雨水貯留タンクを前倒しして設置
 - 道路リフレッシュプランの推進(県単独公共事業)
 - 損傷が進んでいる道路インフラを集中的に修繕するための予算を増額
 - 令和5年4月の凍霜害による農作物被害への対応
 - 農業者の営農継続に向け、被害果実の流通・販売対策への支援や利子助成を実施
 - 暮らしの安全確保
 - しなの鉄道株式会社が安全対策として実施するコンクリート製枕木への更新を支援
 - 自転車の安全な利用の促進に向け、高校生等へのヘルメット購入助成を実施
 - 銃器等を使用した犯罪への対策強化に向け、警察装備資機材等を整備
- 【エネルギー・構造転換に向けた取組】7154万2千円
 - 事業者や市町村等と連携し、マイカー移動から公共交通等への転換やEV化を促進
 - 病害虫被害木等の伐採・搬出経費を助成し、木質バイオマス用材等への利活用を促進
- 【教育環境の整備】1億4351万4千円
 - 児童生徒の増加や老朽化に対応するため、松本・若槻養護学校の校舎改築等に向けた設計に着手
 - 学生の演習環境の充実及び地域の保育ニーズに対応するため、福祉大学校保育実習室を改修
- 【信州ブランドの価値向上と発信】700万3千円
 - 「発酵・長寿県」としてのブランド力向上に向け、発酵食品の魅力発信イベントを開催